

未来

郵政産業ユニオン
PIWU

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4468
24年7月30日(火)
Tel・Fax 095-828-1953

7月期定例窓口報告 事故多発！本人任せが原因だ

おはようございます。
中央最低賃金審議会の小委員会は24日、2024年度の最低賃金（最賃）を全国加重平均で時給1054円に引き上げる目安をまとめました。
現在の全国平均額1004円から50円（5%）の引き上げで、現行方式となつて最大の上げ幅となります。現在長崎県の最賃は898円です。目安通りだと948円で24年度郵政最賃は970円となります。今回出された最賃目安ですが、最賃はこれで決まるわけではなく、この後、各地方での最賃審議会で地域の実情を加味して最賃が決定されます。長崎県では8月1日に第2回長崎地方最低賃金審議会が開かれ、中央最低賃金審議会が出された目安をもとに審議されます。この審議会で労働者を代表

して、郵政ユニオンから佐田支部執行委員が「最賃の大幅引き上げ」の必要性を陳述します。
郵政最賃は10円未満の端数を切り上げる仕組みのため目安の50円のままだと時給も50円上がるだけですが、長崎独自でプラス3円上がると端数切り上げで60円時給が上がることとなります。8時間雇用の時給制契約社員は月平均約180時間（残業含む）勤務しているの、最賃引き上げに伴う給与引き上げ額は50円だと9千円ですが、60円だと1万円を超えます。



また13円プラスされれば70円郵政最賃が上がり、7時間雇用の時給制社員の勤務時間は約150時間ですが、70円上がれば給与が1万円以上アップすることになります。月に1万円以上の給与アップはインパクトでかいです！

地方最低賃金審議会ではじめて郵政の時給契約社員のおかれた厳しい生活実態を陳述し、最賃の大幅引き上げの必要性を訴える佐田執行委員を応援してください。

定例窓口報告

支部は7月23日、長中局と7月期の定例窓口交渉を行いました。長中局からは郵便物の滞留について、時間外労働、交通事故・労災の発生状況などが説明されました。ユニオンからは、交通事故・労災多発について、修繕工事などについて説明を求め、交渉を行いました。

*最低賃金関係の前文が長くなったため、定例窓口の報告は省略しています。詳しくは支部執行委員にお尋ねください。

長中局から

○郵便物などの滞留
7月1日：一集と三集で通常郵便。7月14日：一集と三和集配センターで、書留とゆうパケット類が滞留。いずれも大雨によるもので翌配達日に解消した。

○超勤状況
6月期は30時間越え社員が18名。7月は22日時点で30時間越え社員はいないが年換算目安120時間（30時間×4か月）を超えている社員が4名いる。3・6協定オーバーとならないように注視している。役職者の業務分担を進め超勤数を抑えていく

○採用状況
6月26日深堀集配センターで1名採用。また6月に二集で合わせて2名採用したがいずれも退職した。今後は二集に優先的に採用・配置する。繁忙期終了後に「お仕事説明会」開催案内のチラシを配布する。（採用面接見直しについては省略）

○交通事故及び労働災害
今年度すでに交通事故が6件、労働災害が5件発生している。6月24日～8月31日まで夏期繁忙期事故ゼロ強化期間内に交通事故3件、労働災害が2件発生。
これ以上発生させないように取り組みを行っていく

○新型コロナウイルス感染症
23日現在、8名が療養中。今月に入って19名が罹患
○ヤマト運輸との協業（省略）



ユニオンから（組合からの申し入れのみ掲載）
○交通事故・労災事故（組）事故多発の要因には、要員不足もあり業務に追われていることがある。管理者からの残業抑制などがなくても配達時間帯の縛りはあり、配達を焦ることは変わりない。午後「配達できるのか」と思うくらい満載で出発していく社員もいる。管理者・課長が業務量を把握し適正な業務指示を出すよう求める

○駐車場敷地内の駐輪場の雨漏り修繕工事など各種修繕工事について（組）業者とスケジュールを調整しているという回答だったが一向に進まない。（工事の）指定業者を増やすなどを支社に上申すること



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。

ゆびが、均等待遇を。

なつて差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利した。